

インクルージョン

幼児期発達部門



Illinois
State Board of
Education



イリノイ州のすべての子どもを対象とする幼児期インクルージョン

インクルージョンとは、子どもたち一人ひとりに関係するものです。

インクルージョンとは、子どもたち一人ひとりに関係するものです。インクルージョンは、障がいのある子どもの教育を、障がいのない子どもたちと別にするのではなく、彼らとともに支援するのが原則です。アメリカ障害者法 (ADA) とリハビリテーション法第504条 (第504条) は両方とも、学校や機関に対し、障がいのある子どもたちに平等な教育の機会を提供することを義務付けています。インクルージョン要件に関する主な情報源は、障害者教育法 (IDEA) です。IDEA は、就学前および学齢期の児童 (3歳から21歳) に対して、障がいのある児童が「最も制限の少ない環境」で教育を受けることを要求しています (第1412条(a)(5) および 第1413条(a)(1))。IDEA は、障がいのある乳児および幼児 (0~3歳) に対して、早期介入サービスのための「自然環境」の利用を促進しています (第1432条(4)(G))。

幼児プログラムにおけるインクルージョンとは、障がいのある児童を含めることを指します。つまり高い期待を持ち、個別の配慮によって促進されるすべての学習および社会活動への参加を意図的に促進するものです。そして、根拠に基づいたサービスとサポートを利用して、子どもたちの成長、仲間との友情、帰属意識を促進します。これは、最も軽度の障がいを持つ児童から最も重度の障がいを持つ児童まで、障がいのあるすべての幼児に当てはまります。

「3歳でのインクルージョンプログラムによって、息子が幼稚園に入学したときの成功の基礎が築られました。」

~親御さんのコメント

幼児期インクルージョンの定義

「幼児期インクルージョンは、家族、地域社会、社会の一員として幅広い活動や状況に参加する能力があるかどうかに関係なく、すべての乳児と幼児、そしてその家族の権利を支援するという価値観、ポリシー、慣行を具体化したものです。障がいの有無にかかわらず、子どもたちとその家族が包括的な経験をすることで得られる望ましい効果には、帰属意識や仲間意識、社会との前向きな関係や友情、潜在能力を最大限に引き出すための発達や学習などが含まれます。質の高い幼児向けプログラムやサービスを特定するために使われるインクルージョンの特徴は、アクセシビリティ、参加、サポートです。」

幼児部門 (DEC) および全米乳幼児教育協会 (NAEYC) のインクルージョン共同立場表明による定義

「私たちにとってインクルージョンとは、大人によるモデリングによって、対象となる子どもがその能力を過小評価しないクラスメートと交流させることを意味します。」

「子どもたちは何でも自然に受け入れられる傾向にあり、その様子は非常に喜ばしいです。遊び場を観察し、子どもたちが自主的に、全員を参加させるためにゲームの方法を変更するのをご覧ください。」

幼児期プログラムとは何ですか？

連邦政府によると、幼児期プログラムは障がいのある子どもを含むプログラムであり、プログラムの参加者の大多数は障がいのない子どもたちです。

これらのプログラムには以下が含まれますが、これらに限定されません。

- ヘッドスタート プログラム
- 公立学校制度によって対象となる就学前児童に提供される幼児クラス
- 私立の幼稚園または保育園
- グループ児童発達センターまたは保育

幼児期プログラムは以下のことを行う必要があります。

- 子ども中心で積極的な学習を促進する
- 子どもの発達レベルに応じた学習活動を提供する
- プログラムで子どもたちに関連した活動を行う
- 学習センターでさまざまな実践的な学習活動や教材を提供する
- 子どもたちの興味に応じた学習体験を提供する
- 1日を通して子どもと大人の間での会話や交流を含める



一人ひとりの子どもにとって質の高いインクルーシブなプリスクールのメリット

- ★ 研究によると、意味のあるインクルージョンは、さまざまな発達領域にわたって、障がいのある子どもにも障がいのない子どもにも有益であることが示されています。
- ★ 障がいのある子どもたちは、最も重度の障がいを持ち、最もニーズが高い子どもも含めて、インクルーシブな環境で発達と学習を大幅に進歩させることができます。
- ★ インクルーシブな幼児期プログラムに参加している障がいのある子どもたちは、別々の環境にいる他の子どもたちよりも強い社会的感情スキルを示しています。
- ★ 質の高い幼児向けプログラムにおける有意義なインクルージョンは、障がいのある子どもたちが潜在能力を最大限に発揮できるように支援でき、その結果、幅広い社会的利益がもたらされます。

米国保健福祉省および米国教育省の幼児プログラムへの障がいのある子どもの参加に関する政策声明、全文、2015年9月14日。



インクルージョンの特徴の定義

アクセス

物理的な障壁を取り除き、学習と発達を促進する複数の方法を提供することで、すべての子どもに幅広い活動と環境を提供します。

参加：

さまざまな指導アプローチを適用し、あらゆる子どもの遊びや学習活動への参加と帰属意識を促進します。

サポート：

質の高いインクルージョンを実現するための、専門能力の開発、インクルージョンへのインセンティブ、家族と専門家との間のコミュニケーションと協力の機会など、システムのより広範な側面。

幼児部門 (DEC) および全米乳幼児教育協会 (NAEYC) のインクルージョン共同立場表明より

私の子どもは、どのようにして質の高いインクルーシブな環境で特殊教育サービスを受けることができますか？



二重免許を持つ教師モデル

- 個別教育プログラム (IEP) の有無にかかわらず、1つのグループの子どもたちに通常教育および特殊教育を提供する教師
- フルタイム相当 (FTE) のデュアルライセンス保持者 1名
- FTE アシスタント 1名

デュアルライセンス：幼児期特殊教育 (ECSE) の承認を得て、幼児期に認定された専門教育者ライセンス (PEL)



チーム (共同指導) モデル

- さまざまな資格を持つ教師が協力して、すべての子どもたちの活動を計画、実施、評価します。
- FTEデュアルライセンス保持者* 1名、または学習行動で PEL承認された者、ECSE 承認を受けたスペシャリスト 1名
- 幼児期の分野で PEL 承認された FTE 教師 1名
- FTE アシスタント 1名



巡回モデル

- 教師および関連サービスプロバイダーは、通常教育の教師および他のスタッフと協力して、通常教育の教室で特殊教育を提供します。
- デュアルライセンス、または ECSE 承認を得て LBS1 で PEL 承認された者1名FTE は個別教育プログラムのニーズによって決定されます。

上記のインクルージョンのための支援は、幼児が世話と教育を受けている場所ならどこでも行うことができます。一般的なオプションには、コミュニティ保育、ヘッドスタート、プリスクールフォーオールのカラクルーム、公立学校の幼児クラスなどがあります。

それぞれの支援の目標は、障がいのある子どもたちとない子どもたちを含む質の高いプログラムで、障がいのある子どもたちに特殊教育サービスを提供することです。



協力的

- 特殊教育および関連サービスのスタッフは、IEP の子どもに特化した通常の教育スタッフと協議します。IEP の有無にかかわらず、1つのグループの子どもたちに通常教育と特殊教育を提供する教師
- 単独のモデルのケースと、他のモデルへの追加となるケースがあります

私の子どもにとってインクルージョンはどこで実現できるのでしょうか？

小さな子どもたちが集まる場所ならどこでも実現可能です！
一般的な選択肢には次のようなものがあります。





参考文献とリソース

CONNECT : The Center to Mobilize Early Childhood Knowledge (幼児期の知識を活用するセンター)(2012年)政策勧告：インクルーシブ教育に関する法律 (改訂版)。チャペル・ヒル：ノースカロライナ大学、FPG児童発達研究所、著者

DEC/NAEYC.(2009年)Early childhood inclusion (幼児期インクルージョン)：幼児部門 (DEC) および全米乳幼児教育協会 (NAEYC) のインクルージョン共同立場表明。チャペル・ヒル：ノースカロライナ大学 FPG 児童発達研究所http://npdci.fpg.unc.edu/resources/articles/Early_Childhood_Inclusion から無料でダウンロードできます。

2004年障害者教育改善法、20 U.S.C. 第1400条以降

米国保健福祉省および米国教育省の幼児プログラムへの障がいのある子どもの参加に関する政策声明、全文、2015年9月14日。